

「さいたま市教育委員会感謝状贈呈式」を開催しました

さいたま市教育委員会では、長年にわたり、学校や子どもたちのために様々な活動を通して、御尽力いただいている方に感謝状を贈呈しています。

今年度は、令和5年12月19日（火）に浦和コミュニティセンター、12月20日（水）に大宮区役所にて、さいたま市教育委員会感謝状贈呈式を開催しました。当日は、受賞された方々をお一人ずつ紹介し、功績を称えるとともに、敬意を表した感謝の言葉をお伝えしました。

感謝状贈呈式は、今年度で6年目を迎えました。延べ398名の方々に感謝状が贈られています。



竹居秀子教育長による感謝状の贈呈



樋口学習アドバイザー（左）と高久校長（右）

このたび、感謝状を贈呈されました樋口隆嗣（ひぐちたかし）様におかれましては、「地域の子どもの役に立ちたい」という思いから、10年以上にわたって、上大久保中学校チャレンジスクール（以下、上チャレ）にお力添えをいただいております。

樋口様は、上チャレの学習アドバイザー（英語）として、生徒の学習支援を行っています。生徒が学習につまづいたときは、親身になって丁寧に対応していただき、生徒だけでなく、教職員からも厚い信頼を寄せられています。生徒の笑顔や日々成長する姿にやりがいを感じ、今後も継続して力になりたいと力強いお言葉をいただきました。

「第3回学校地域連携コーディネーター情報交換会」を開催しました

さいたま市教育委員会では、学校地域連携コーディネーターの資質向上を図るため、定期的に情報交換会を開催しています。令和6年1月18日（木）に開催された情報交換会では、向小学校・鈴谷小学校・東岩槻小学校・植竹中学校の4校による協働活動の発表が行われました。コミュニティ・スクールとスクールサポートネットワークの一体的推進に係る各学校の取組や実施にあたっての工夫、活動の成果などが報告されました。

今回は、事例発表を行った鈴谷小学校の特色ある活動の一部を御紹介します。



鈴木学校地域連携コーディネーター発表の様子



グループ協議の様子

鈴谷小学校の鈴木学校地域連携コーディネーターから、「子どもひなん所110番の家との交流を通じた下校時の安全強化」についての発表がありました。

学校運営協議会の熟議の中で、「登下校の安全」と「地域とのコミュニケーション」というテーマで熟議が行われ、「子どもひなん所110番の家（以下、110番の家）」との交流が計画されました。一斉下校時に、児童、保護者、教員が一緒になって「110番の家」に感謝を伝えに伺った結果、「110番の家」の場所を確認しただけでなく、「110番の家」がより身近なものになり、地域全体の防犯意識がさらに強くなったとのことです。

その後、区ごとに分かれてのグループ協議を行いました。4校の実践事例の発表を踏まえ、自校の地域学校協働活動を振り返り、成果と課題や次年度への展望について情報交換を行いました。

スクールサポートネットワーク（SSN）は、地域全体で未来を担う子どもたちをはぐくむため、学校と幅広い地域住民等を結ぶネットワークです。
本紙では、これからも、学校・家庭・地域の連携による取組の様子を御紹介していきます。